

自己点検・自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

2024年4月1日現在

彰栄リハビリテーション専門学校

2024年4月1日作成

目 次

| | | | |
|---------------------------------|----|------------------------------|----|
| 教育目標と本年度の重点目標の評価 | 1 | 5-16 就職等進路..... | 22 |
| 基準 1 教育理念・目的・育成人材像 | 2 | 5-17 中途退学への対応..... | 23 |
| 1-1 理念・目的・育成人材像..... | 3 | 5-18 学生相談..... | 24 |
| 基準 2 学校運営 | 4 | 5-19 学生生活..... | 25 |
| 2-2 運営方針..... | 5 | 5-20 保護者との連携..... | 26 |
| 2-3 事業計画..... | 6 | 5-21 卒業生・社会人..... | 27 |
| 2-4 運営組織..... | 7 | 基準 6 教育環境 | 28 |
| 2-5 人事・給与制度..... | 8 | 6-22 施設・設備等..... | 29 |
| 2-6 意思決定システム..... | 9 | 6-23 学外実習、インターンシップ等..... | 30 |
| 2-7 情報システム..... | 10 | 6-24 防災・安全管理..... | 31 |
| 基準 3 教育活動 | 11 | 基準 7 学生の募集と受入れ | 32 |
| 3-8 目標の設定..... | 12 | 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか..... | 33 |
| 3-9 教育方法・評価等..... | 13 | 7-26 入学選考..... | 34 |
| 3-10 成績評価・単位認定等..... | 14 | 7-27 学納金..... | 35 |
| 3-11 資格・免許の取得の指導体制..... | 15 | 基準 8 財務 | 36 |
| 3-12 教員・教員組織..... | 16 | 8-28 財務基盤..... | 37 |
| 基準 4 学修成果 | 17 | 8-29 予算・収支計画..... | 38 |
| 4-13 就職率..... | 18 | 8-30 監査..... | 39 |
| 4-14 資格・免許の取得率..... | 19 | 8-31 財務情報の公開..... | 40 |
| 4-15 卒業生の社会的評価..... | 20 | 基準 9 法令等の遵守 | 41 |
| 基準 5 学生支援 | 21 | 9-32 関係法令、設置基準等の遵守..... | 42 |
| | | 9-33 個人情報保護..... | 43 |
| | | 9-34 学校評価..... | 44 |
| | | 9-35 教育情報の公開..... | 45 |

| | | |
|--------------|------------------------|-----------|
| 基準 10 | 社会貢献・地域貢献 | 46 |
| 10-36 | 社会貢献・地域貢献 | 47 |
| 10-37 | ボランティア活動 | 48 |

教育目標と本年度の重点目標の評価

| 学校の教育理念・目標 | 令和5年度重点目標 | 重点目標・計画の達成状況 | 課題と解決方策 |
|---|---|---|---|
| <p>世界に先駆けて超少子高齢化社会を迎えた我が国において、健康で心豊かに暮らしたいという願いは、年齢を問わず共通のものであり、医療と生活の基盤の上に立った作業療法及び作業療法の担う役割は益々重要なものとなっている。</p> <p>作業療法士協会では、作業療法士養成4年制移行及び、作業療法士の資格について、さらに高位の認定作業療法士や高度作業療法士の資格取得の問題が重要課題となっている。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1、新カリキュラムと旧カリキュラムの移行に引き続き対応する必要がある。 新型コロナ禍に対応した、学習環境及び実習施設の対応等を進める。 2、教職員が一致団結して、学生募集、広報活動に取り組む。 3、障害だけにとらわれず、当事者の生活を考えることができる学生を育てる。 4、成績が振るわない学生（学力不足、生活態度不良、精神面の問題を抱えるなど）をサポートする。 | <ol style="list-style-type: none"> 1、研修担当教員を昼夜間1名ずつ設け、認定作業療法士資格取得、臨床実務研修について、輪番制で調整していく。 2、大きな変更はないが、引き続き学生募集担当を教員主導型の学生募集活動に取り組む。 3、授業内実習や授業で招聘された当事者との学びを大切にする。 4、非常勤講師、教科担当教員と各学年の担任が連携をとり、成績不振の学生を把握し個別に指導していく。 | <p>臨床実習施設を引き継ぎ調整する。</p> <p>入試説明会等に積極的に教員が参加する。</p> <p>学生と当事者両方にプラスになっているので今後も継続したい。</p> <p>新カリキュラムの移行等、担任の負担が大きくなるので副担任の役割分担を強化し、部会や委員会等で情報交換をおこなう。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| <p>< 建学の精神 「愛と奉仕」 > 当学園は明治29（1896）年アメリカの宣教師による「日本の子どもたちがしっかりとした幼児教育を受けられるようにしたい」との思いから始まった。この気持ちを受け継いだものが建学の精神である。</p> <p>< 教育理念 > 「愛と奉仕の建学の精神を基とし、相手を受け入れ、共に生きることのできる人間愛にあふれた、以下のような学生を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害や環境への不適応により生きること、生活することに困難を抱える人に対して、自らの持てる力を惜しみなく発揮していく実践ができる。 ・時代の変化や地域の特性に応じ、多様で個別的な考え方に対応できる。 <p>< ディプロマポリシー > 本学学則規定の作業療法学科教育課程の卒業単位を修得し、教育目標を達成できたと判断できる以下の学生に専門士（作業療法学）の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションや作業療法の領域で求められる豊富な理論や技術を活用することのできる能力を身につけている人 ・相手を理解するために、健康状態、活動と参加、心身機能と身体構造、環境など多面的に捉え、問題解決に向けて尽力できる人 ・対象となる人や多職種を含む多様な支援者に対し、目標達成に必要な連携について工夫できる人 ・変化する社会的ニーズを的確に捉え、自らの研鑽はもとより、他者に対して成長の一助となるよう働きかけられる人 | <p>< カリキュラムポリシー > 教育理念を具現する者の育成に向け、次のような教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助職として必要な基礎能力の修得に向けた学習を早期より行い、作業療法士としての職業的アイデンティティを育成するための教育 ・学生同士のグループワークや、地域で生活している高齢者、障がい者と接することで臨床における幅広いコミュニケーション能力を習得するための教育 ・医療専門職として疾患、障害の特性を踏まえた生活支援へとつなげられる知識と実践能力を習得するための教育 ・リハビリテーションの理念を理解し、時代の変化や特性に合わせて、幅広く活躍することができるための教育 <p>< アドミッションポリシー > 教育理念を基盤に、作業療法を必要とする者とともに歩み、その人の健康と幸せを目指す力を育むために、以下のような入学者を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士として働く意志がある人 ・思いやりの心を持ち、他者の幸せや慶びに共感できる人 ・自分の考えを伝え、他者の話を聞くことができ、協調性をもって行動できる人 ・他者と目的を共有し、力を貸すとともに、助けが必要な場合は助けを求められることができる人 ・在学中は、勉学を第一との心構えを有する人 ・夢を語り、夢に向かって努力できる人 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

1-1 理念・目的・育成人材像

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--|---|---|---|-------------------------------|
| 1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか | 学校運営及び教育活動の基本となるものなので明確にし、学内外等へ周知徹底することが重要である。 | 理念・目的・育成人材像とも学校案内及び学則等で、わかりやすい表現で明確に示している。 | 特になし | 学則 学校案内 学生便覧 |
| 1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか | 育成人材像は、社会環境に応じて変化するため、現状について常に人材ニーズに適合しているか見直しを図る必要性を認識している。 | 指定規則改定に伴い、新しい養成カリキュラムの対応で、臨床実習施設と連携し内容の充実を図っていききたい。 | 作業療法士の仕事内容及び魅力について、学生がしっかり理解できるように、更なる充実が必要である。 | 学則 学生便覧 臨床実習評価表 |
| 1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか | 理念等を達成するために、学事日程及びカリキュラム編成など、特色ある教育活動に取り組む必要がある。 | 学事日程及びカリキュラム編成については、教員会で検討し可能な限り迅速に対応を進める。 | 特になし 教育内容については、より効果的な方法を検討し続ける必要がある | 学則 学事日程表 学生便覧 教員会議事録 |
| 1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか | 少子高齢社会に期待される人材養成を継続して行うため学校形態について検討するとともに、教育課程や施設設備の充実が必要である。これらを課題とすることが、将来構想に繋がると考える。 | 教育課程や施設設備の充実については、将来構想も含め模索している。 | 本校において、課題を整理検討している。 その上で、理事会及び評議員会に報告し、将来構想を描く必要がある。 | 事業計画書 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---|
| <p>理念・目的・育成人材像は、学校案内・学則・ホームページ等にわかりやすく示し、日頃の教育活動や保護者との懇談会においても丁寧に説明していることから、周知徹底されているものとする。</p> <p>カリキュラム編成においても、指定規則改定に伴い、新しい養成カリキュラム、臨床実習施設と連携し内容の充実を図っていききたい。</p> | 本校の建学の精神である「愛と奉仕」は、創立以来変わらぬ理念として堅持している。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 2 学校運営

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---|
| <p>一世紀を超える学校運営の実績や建学の精神に基づき、学校をとりまく教育環境等の変化に対応するため、評議員会等の意見を参酌し、理事会の議を経て、運営方針及び事業計画を作成している。また、各委員会等の体制の刷新を行い、より効率的な運営及び入学定員の継続的な確保等を図っている。</p> <p>運営方針及び事業計画の達成には、教職員の連携と協力が不可欠なため、各法令等に定められた基準を遵守しつつ、的確な人材の確保と処遇及び賃金体系の整備のため、諸規程の見直し等を行っている。</p> <p>学校運営の方針に従い、定期的に行う学内の各会議で、情報の分析及び判断等を系統的に議論している。また、情報システムもネットワーク構成等を考慮して、現在の学生管理システムの更新等を行い、データの一元管理を図る。</p> | <p>各学校をとりまく環境がめまぐるしく変化する中で、伝統と実績だけでなく、実情に対応した学校運営を図り、組織的な対応をしてきているが、整備が間に合っていない部分がある。諸規程及び情報システム等を見直し、社会に求められる人材養成の学校として取組む必要がある。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-2 運営方針

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-------------------------|---|--|-----------|-----------|
| 2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか | 学校の教育理念に基づき、評議員会等の意見を参酌し、理事会の議を経て、実情に合わせた運営方針を定め、各委員会及び教職員で連携して目標達成を図る。 | 理事会及び評議員会で意思決定された運営方針を基に、各委員会及び教職員で連携して、作業療法の即戦力となる人材養成に努めている。 | 特になし | 学校案内 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| <p>理事会及び評議員会で意思決定された運営方針が、年度当初に理事長から教職員に周知され、各委員会等で協議・報告し、連携して目標達成に取り組んでいる。</p> <p>実情の変化に対応する体制整備を優先しており、各種諸規程全ての整備までには至っていないが、改正を進めている。</p> | |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-3 事業計画

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------------|--|---|---|-----------|
| 2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか | 学校の教育理念に基づき、評議員会等の意見を参酌し理事会の議を経て、毎年度事業計画を定め、各委員会及び教職員で連携して目標達成を図る。 | 毎年度、事業計画を作成し、文書化している。 何年度から作成されるようになったかを明らかにすることで、改善に向けた対策が取られていることを印象付ける。 | 特になし 事業計画書についてはより良い運営のために改善を進め、共通認識のもと業務にあたることのできるようになることを目指す。 | 事業計画書 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| 学校の運営方針を反映した事業計画は、毎年度作成されており、各部門では目標を達成すべく必要な手立てを講じている。 | 学校をとりまく環境が、めまぐるしく変化する中で、中長期計画については、期間を区切った上で見直し等の検討を行っている。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-4 運営組織

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------|----------------------------------|--|--|--------------------|
| 2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか | 理事会及び評議員会は、寄附行為に基づき適正な運営を目指す。 | 理事会及び評議員会を定期的に開催するだけでなく、緊急の課題には臨時会議で対応する等、実情に応じて効率的に運営し目標達成を図っている。 | 特になし 職員に対し、必要な事柄につき適切な報告、説明等をより改善させる。 | 理事会や評議員会の開催日が分かる資料 |
| 2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか | 組織が明確化され、それぞれが業務分掌に従い学校運営を行っている。 | 理事会決議を受けて、各部門に伝達され、実施に移す仕組みとなっている。 業務上必要な事は部署において委員会を設けている。 | 特になし 実務上、各委員、係についての権限などの整備。 | 学校法人彰栄学園組織表 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 理事会、評議員会、教員会及び各委員会等の意思決定機能が、効率的に運営されている。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-5 人事・給与制度

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------|---|--|--|-----------|
| 2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか | 人事評価に関する制度は、実施されていない。導入の可否については、慎重に検討されるべきである。 給与に関する制度は、規程の定めにより公正に支給されている。 | 給与規程別表給与表により、専門学校教員及び事務職員毎の等級が定められているが、中途採用者の問題等があり、見直しが必要と思われる。 | 個別の評価云々ではなく、学校全体として、将来にわたり安心や理解を得られる人事制度の構築が急務である。 これは、高所からの問題ではなく、現実に教職員のコンセンサスを得られる方法で解決すべきである。 | 給与規程 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--|
| 法令及び諸規程に則り、適正な学校運営のため賃金及び処遇の制度を整備し、必要な人材の確保と把握に努めているが、見直しが必要なことも認識しているため、早急に検討を図る。 | 学校運営に関わる部門と、教育に関わる部門の意思疎通を、より円滑にする方法等を検討する、法人及び教学に関わるガバナンス及びコンプライアンスが必要と考える。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-6 意思決定システム

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------|---|---|---------------------------------------|---|
| 2-6-1 意思決定システムを整備しているか | 毎年様々な情報を蓄積し、分析されたデータを運営及び教育に関わる意思決定に活用することが重要である。 | 定期的に行っている理事会、評議員会、教員会等で、議論し、意思決定システムの再検討と、その周知徹底を図る必要がある。 | 意思決定には、臨機応変の決定を速やかに行うことが必要で、今後の課題である。 | 理事会会議規則 常務理事会設置規則 理事会の業務権限委譲並びに業務執行規則 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---|
| 意思決定システムは概ね確立されており、所定のプロセスにより意思決定されている。臨機応変の決定を速やかに行うことが、今後の課題である。 | 学校運営に関わる部門と、教育に関わる部門の意思疎通を、より円滑にする方法等を検討する。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

2-7 情報システム

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|--|--|---|-----------|
| 2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか | 入学試験・教務・就職管理シ ステム等の情報化を図り、業務 の効率化を図る。 学生指導などを効果的に行 うためのネットワーク活用。 | 学生管理システム等の見直 しを図り、データを一元化して 有効に活用する。 Google classroom を使用し た情報の伝達及び共有化をは かっている。 | 法令等の改正による経営環 境及び学則変更等が必要な時 は、随時システムを調整及びリ ニューアルをしているが、イン ターネット活用等、なお一層の 効率化を目指すことが課題で ある。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---------------------------|---|
| 学生データを一元管理して業務の効率化を進めている。 | 情報システム環境の変化に対応するシステムについて、infoclipper を導入し情報の一元化を図り、作業効率を向上させるとともに、間違いのない帳票の作成を行えるようにした。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 3 教育活動

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| <p>教育理念に基づき、人材育成の目的を学生便覧に示し、東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいく。</p> <p>基本的には、理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された指定科目で編成を行っている。また、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮し、適切なカリキュラム編成に取り組んでいる。</p> <p>指定基準等の規定に基づき適正な位置付けを行い、各科目とも授業の内容や進め方をシラバスにわかりやすく学生に示している。</p> <p>臨床実習指導及び就職オリエンテーションの中で、学生が将来展望できるようキャリア教育を行っている。</p> <p>学生による授業評価と、学校として授業内容の把握及び評価の両面から、授業の質を向上させるための改善を図る。</p> <p>専任教員資格内規及び非常勤講師に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行える教員を確保し、国家資格養成校の全国団体等主催のセミナーや研修に参加して、スキルアップを図る。</p> <p>卒業と同時に国家試験受験資格が取得となるため、国家試験担当教員が個別に対応し国家試験合格に向け、適宜学生のサポートを行っている。</p> <p>地域に在宅されている障がい者、高齢者、発達障がい児との関わりを授業内実習の形式で行い、机上の学習を実践につなげるような教育を行っている。</p> | <p>職業教育は勿論のこと、建学の精神である「愛と奉仕」を基盤にした教養教育を行い、知識、技術及び心の調和のとれた人材育成の教育を重視している。</p> <p>旧カリキュラム、新カリキュラムが混在する最後の年となった。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

3-8 目標の設定

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------------------|--|--|---|-----------|
| 3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか | 教育理念に基づき、教育課程の編成方針、実施方針を定めることが重要である。 | 学生便覧に、教育目的及び人材育成の目的を示している。作業療法特論及び作業療法演習といった本校独自の授業科目も取り入れている。 | 増加傾向にあることが、今後の課題である。 副担、係を複数で担当する予定である | 学生便覧 |
| 3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか | 東京都の作業療法士養成指定科目を中心に、カリキュラム編成していくことが重要と考える。 | 東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいるとともに、教育内容はシラバスで明確に示している。 | 2018度より、前期及び後期終了時に、到達度確認試験を行っている。 | シラバス |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 教育理念に基づき、人材育成の目的を学生便覧に示している。東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいるとともに、教育内容はシラバスで明確に示している。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

3-9 教育方法・評価等

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-------------------------------|--|--|-------------------------------------|------------------------|
| 3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか | 東京都の作業療法士養成カリキュラムに沿って、科目の編成を行っていくことが重要と考える。 | 理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された、指定科目で編成を行っている。 | 新カリキュラム移行に伴い、教育目標と授業の整合性をより整備する。 | シラバス |
| 3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか | 東京都の作業療法士養成カリキュラムに留意しつつ、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮することが重要と考える。 | 教育課程編成委員会での意見及び臨床実習先や就職先の施設長等の意見を基に必要であれば適宜検討し、教員会で決定している。 | 意見の活用など、今後とも積極的な活用が必要。 | 教員会議事録 教育課程編成委員会議事録 |
| 3-9-3 キャリア教育を実施しているか | 各種行事やオリエンテーション等を含む教育課程の中で、将来のキャリアアップを含めた教育を行うことが重要である。 | 臨床実習指導及び就職オリエンテーションの中で、学生が将来を展望できるよう情報提供や相談等を行っている。 | コロナ禍による状況の変化によって十分にできていない。 | |
| 3-9-4 授業評価を実施しているか | 教員及び学生による授業評価については、授業の質を向上するためにも行うことが重要と考える。 | 専任教員については授業評価(アンケート)を行い、授業内容について分析を行うとともに、次年度に向け改善を行っている。 | 現在専任教員のみ実施しているが、非常勤講師についても準備を進めている。 | |

| 中項目総括 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) |
|---|--|
| 理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された、指定科目で編成を行っている。また、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮し、計画的にカリキュラム編成に取り組んでいる。学生による授業評価と学校として授業内容の把握及び評価の両面から、授業の質を向上させるための改善を図る。 | 職業教育は勿論のこと、建学の精神である「愛と奉仕」を基盤とした教養教育を重要視し、知識、技術及び心の調和のとれた人材育成を図ることを目指す。 |

最終更新日付

2024年4月1日

記載責任者

金谷 恵美

3-10 成績評価・単位認定等

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------------------|--|---|--|-----------|
| 3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか | 学生便覧に成績評価について明示し、基準を明確にすることが重要と考える。 | 学生便覧に成績評価方法等について明示し、科目担当教員からの成績報告を成績判定会議に諮り決定をしている。 | GPA 活用を引き続き推進する。 | 学生便覧 |
| 3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか | 作品及び技術等の発表における成果の把握を明示し、基準を明確にすることが重要と考える。 | 授業開始日に成果の把握方法等について明示している。 実技試験を実施し、実習に定めるための能力の確認を行っている。 | 事前指導だけでなく、結果についても指導する。またグループ学習も効果的に導入する。 | シラバス |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|----------------------------------|
| 学生便覧及びシラバスに、成績評価、単位認定のあり方等について明示し、基準を明確にしている。 | 今年度になり、臨床実習も予定の時間数で実施ができるようになった。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

3-11 資格・免許の取得の指導体制

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------------------|---|--|--|-----------|
| 3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか | 学生便覧及びシラバスに掲載するとともに、学生に周知することが重要である。 | 卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得できる。この内容は、学生便覧に掲載するとともに、新入生オリエンテーション等でも徹底している。 | 資格取得を目的に入学しているため、特に問題はない。 | 学生便覧 |
| 3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか | 卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得となるため、国家試験合格に向けて徹底した指導体制が重要である。 | 国家試験担当教員が、グループ別及び個別に対応し、国家試験合格に向け、適宜学生の指導を行っている。 | 特になし 入学時からの積み重ねによる成果の達成についてのデータを収集しなおす。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得となるため、国家試験担当教員が、グループ別及び個別に対応し、国家試験合格に向け、適宜学生の指導を行っている。また、学生便覧に掲載するとともに、新入生オリエンテーション等でも徹底している。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

3-12 教員・教員組織

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|----------------------------|---|--|--|-------------------------------|
| 3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか | 東京都より示された教員の資格要件に基づき、教員を確保する。 | 専任教員資格内規及び兼任教員に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行うことのできる教員を確保している。図書室に司書を配置し、専門性や教授力向上を図る。 | 最低限の要員は確保できている。しかし、教育理念に基づいた本校独自の教育内容に照らし合わせて適切かどうかの検討は必要。 | 専任教員資格内規 兼任教員に関する規程 |
| 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか | 教員の資質向上は重要であり、研修を予定している。 | 法人が設置する彰栄表現研究所において、教員間の共同研究を促進し、研究所紀要を発表している。また「在るべき研修制度」を策定し各種研修会への参加を促し、教員の資質向上を目指す。 | 特に日本作業療法士協会が推進している認定作業療法士修得も視野に入れて、教員の資質向上は、一段と力を注ぐ予定である。 | 彰栄表現研究所研究紀要 「在るべき研修制度」について |
| 3-12-3 教員の組織体制を整備しているか | 専任教員及び兼任教員を含め、学習指導及び学生情報を共有して学生指導を行う組織体制が重要である。 | 兼任教員からの情報を専任教員の学生指導に活かせる体制の構築。 | Google classroom の活用。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| 専任教員資格内規及び兼任教員に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行える教員を確保し、資格養成校全国団体等主催の研修会へ参加して、スキルアップを図っている。 定期的に、臨床業務の研修を昼間部全教員が行っている。 | 研修会には参加し、スキルアップを図った。 昼間部担当、専任教員は定期的に、臨床業務として施設に赴き学生指導に活かせるよう実務の習得を行っている。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 4 学修成果

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| <p>就職率の向上については、教員会で学生の就職情報を共有することにより、一人ひとりの就職希望を把握して、求人に対応できる体制を整え指導を行っている。</p> <p>就職が内定しても作業療法士国家試験に合格しなければ、就職の内定を取り消しとなることから、国家試験対策については、在学中から国家試験担当教員を中心に合格へ向けた指導を徹底して行っている。</p> | <p>卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得のため、国家試験担当教員を中心に、1年次から国家試験合格に向けた指導を徹底して行っている。</p> <p>1年次には主に基礎学力の底上げと専門基礎分野のノートのとり方を中心に指導を行う。</p> <p>2年次には専門基礎分野（体の仕組みが中心）の理解力を中心に学力のふるわない学生に対しては補習を行う。</p> <p>3年次には国家試験合格へ向けた過去問題10年間分の分析を中心に指導を行っている。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

4-13 就職率

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-----------------------|---|--|------------------|-----------|
| 4-13-1 就職率の向上が図られているか | 担任を中心として、学生一人ひとりの就職希望を把握し、求人に対応できる体制を整え指導を行い、就職率100%を目標としている。 | 本校開校以来の就職率は、100%となっている。担任を中心に、就職活動状況を把握し、学生へ個別に指導を行っている。 | 就職説明会を年2回程度開催した。 | 就職内定状況一覧 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 教員会にて学生の就職情報を共有することにより、学生一人ひとりの就職希望を把握して、求人に対応できる体制を整え指導を行っている。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

4-14 資格・免許の取得率

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|----------------------------|---|--|---|-----------|
| 4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか | 国家試験担当教員を中心として、学生一人ひとりの学力を把握し、グループ別及び個別での指導体制を整え、合格率100%を目標としている。 | 国家試験担当教員が、グループ別及び個別に指導を行っている。特に、専門基礎分野を中心に、弱点部分の勉強方法の指導に力を入れている。 国家試験対策専門の講師を招き、指導を行っている。 | 合格率100%を目標としているが、達成されていない。伸び悩みの学生を含め、問題点を洗い出し、徹底した指導により合格率100%を目指す。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| <p>国家試験担当教員が、グループ別及び個別に指導を行っている。特に、専門基礎分野を中心に、弱点部分の勉強方法の指導に力を入れている。</p> <p>合格率100%を目標としているが達成されていないため、伸び悩みの学生を含め、どのような指導で底上げをしていくかが課題である。</p> | |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

4-15 卒業生の社会的評価

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--------------------------|--|---|--|-----------|
| 4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか | 就職した卒業生等に対して社会的活躍等の情報を収集していくことが重要であると考ええる。 | 臨床実習先での懇談や卒業生との面談により、情報収集をしている。 同窓会総会の開催時や学校訪問の卒業生に対して、その活躍等の把握に努めている。 | 卒業生に対する就職先への就業状況等の調査は行っていないため、評価等はデータとして把握できていないが、概ね好評と聞いている。 本年度より卒後教育を実施。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|----------------------------|
| 臨床実習先での懇談や卒業生との面談により、情報収集をしている。 同窓会総会の開催時や学校訪問の卒業生に対して、その活躍等の把握に努めている。 | 個人情報の問題から情報を収集に苦労しているのが現状。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準5 学生支援

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| <p>就職に関する体制としては、就職相談室を設け、求人票等の学生が必要な情報を提供できるよう体制を整えている。また、学生が希望どおりの就職ができるよう細やかな指導を実施している。</p> <p>学生相談に関する体制については、クラス担任制になっており各担任が年に数回にわたり、全員に面談を行っている。</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制については、日本学生支援機構及び東京都育英資金等の一般奨学金を掲示板に掲載し、学生に周知している。</p> <p>学生寮は、遠隔地出身者の入学希望者が少ないため、完備していない。希望者に対しては、学生会館等の資料配布や検索サイトを紹介している。</p> <p>家族との適切な連携の重要度は、年々増加している。懇談会を実施するが参加者は少ない。</p> <p>卒業生への支援体制は、同窓会総会の開催を通して、卒業生相互の交流や情報交換を行っている。</p> <p>多種の悩みを抱える学生に対し、外部の相談員が月1回程度相談窓口を開いている。</p> | <p>担任、就職担当教員を中心に、履歴書の書き方及び面接の指導を個別で行っている。</p> <p>独自に彰栄奨学金制度を創設し、経済状況が急変した学生への支援を行っている。また、入学手続時費用の分納及び学費の月払い制度で費用負担軽減を図っており、本校ホームページに掲載及び各イベントでの説明により周知している。</p> <p>学生指導、とりわけ、オフィスアワーの問題については事前に、若しくは定期的に面談室の確保が難しいことから、教員の意欲、並びに学生の要望にもかかわらず、十分に活用されていないところがある。運用との問題を含め今後の課題である（前年同様）</p> <p>また、研修等の時間もあり、時間の確保も困難な状況となっている。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-16 就職等進路

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--------------------------------|--|---|-----------|-----------|
| 5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか | ネット検索や求人票等の学生が必要な情報が提供できるよう体制を整える。 教員による委員会を設けている | 担任、就職担当教員を中心に、履歴書の書き方及び面接の指導を個別で行っている。また、就職説明会を年2回開催した。 | 特になし | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--|
| 就職に関する体制としては、就職担当教員及び担任が求人票等の学生が必要な情報を提供できるよう体制を整えている。また、学生が希望どおりの就職ができるよう指導を実施している。 | 求人は増加傾向となっており学生数を大きく上回っているが、面接指導や一般常識的な指導が必要な学生が増えている。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-17 中途退学への対応

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-----------------------|--|--|--|-----------|
| 5-17-1 退学率の低減が図られているか | クラス担任を中心に、就職を目指して徹底した学習や生活指導を行い、可能な限り退学者を低減させることが重要であると考えます。 | クラス担任制となっているので、適宜学生からの相談を受けて対応している。また、家族からの相談についても、必要に応じて対応している。 | コミュニケーション力不足、学力不足が原因のケースが多くみられる、補習等を行い学力不足を補う。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| クラス担任を中心に、就職を目指して徹底した学習や生活指導を行い、退学者の低減を図っている。 | 必要な学生には、面談やメールを活用して、頻繁にコミュニケーションを図っている。 授業時間外も学校を開放している。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-18 学生相談

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|----------------------------|--|--|--|-----------|
| 5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか | クラス担任制になっており、担任が中心に対応するが、必要に応じて教職員が適宜対応する。 | クラス担任が、個別に対応している。また、必要に応じて教員会で協議している。 | オフィスアワーについては今後の課題である。(前年同様) | |
| 5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか | グローバル化が進んでいる今日的状況から、留学生受け入れについて環境整備をしている。 | 現在、留学生は在籍していないが、在日外国籍の学生は受け入れている。しかし、今後は日本での教育を受ける外国籍学生は増加するものと思われる。 | 日常会話は問題ないが、医療分野の専門用語などの文章理解につまずく学生もいる。個別の対応が必要と考える。また、教員の語学力の向上も必要となる。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| 学生相談に関する体制は、クラス担任制となっており、担任が個別に対応している。 相談員を配置している。 | オフィスアワーについては制度面の問題を解決し、円滑な運営を行えるよう検討していきたい。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-19 学生生活

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------------|---|--|---|------------------------|
| 5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか | 一般奨学金及び独自の彰栄奨学金を周知し、学生への支援を行う。また、学費の月払い制度等により費用負担軽減を図る。 | 各種奨学金を掲示板に掲載し、周知している。申込説明会を実施し、支援を行っている。費用負担軽減については、本校ホームページに掲載及び各イベントでの説明にて周知を図っている。 | 学生の置かれている状況も変化してきているため、検討が必要。 | 各種奨学金一覧表 学費の月払い制度資料 |
| 5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか | 学校保健安全法に基づき、計画に沿って健康診断を行う。 | 全学生が年に1回健康診断を実施して、学生の健康状況を把握し、健康管理に努めている。 感染症対策でプログラムワクチン接種については実習地からの要望が多く、全学生を対象に抗体検査を実施し必要に応じてワクチン接種を推奨している。 | ワクチン接種については費用、時間もかかるので、学校の方針を定めて担任を中心に指導を進めていく。 | 健康診断実施者名簿 ワクチン接種報告書 |
| 5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか | 学生寮の問合せ時に、本校特約寮の資料を配布し、紹介を行う。 | クワドラングル志茂(特約寮)を案内している。 | 今後の社会状況の変化に対応できるようにする。 | リーフレット |
| 5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか | 部活動及び同好会活動については、学生学友会の承認を得て活動を支援する。 | 部活動補助金については、学友会で検討し学友会総会承認後、交付している。 | 麻雀同好会が1学年で発足、来年度クラブとして認可される予定。 | 学生便覧 |

| 中項目総括 | 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) |
|--|---------------------------------------|
| 学生の経済的側面に対する支援体制については、各種奨学金等を掲示板に掲載し、学生に周知している。学生の健康管理を行う体制については、健康診断を実施して健康状況を把握している。 | 独自に彰栄奨学金制度を利用し、経済状況が急変した学生への支援を行っている。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-20 家族との連携

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-------------------------|---|---|-------------------------------|-----------|
| 5-20-1 家族との連携体制を構築しているか | 家族との連携体制は、学生が学校生活をおくる上で、欠かせない重要なことと考える。 | 家族会（保護者会）実施したが、参加者は少数であった。また、問題のある学生の保護者とは担任が電話および書面での連携を適宜行っている。 | 特になし 相談しやすい体制づくりの構築が必要である。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 家族との適切な連携は、年々重要度が増している。家族会（保護者会）を実施。必要に応じて、担任が保護者と連絡を取っている。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

5-21 卒業生・社会人

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|---|--|--|-------------------|
| 5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか | 卒業生への支援体制については、組織的に整備し機能させていく。 | 学内実習において卒業生に講師をお願いした。 | 卒後教育を前提とした定期的な勉強会を同窓会と教員と共同で取り組んでいきたい。 | |
| 5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか | 産学連携による卒業後の再教育については、生涯学習が必要である医療分野においては重要なことと考える。 | 産学連携による卒後教育はまだ実施されていない。 | 卒後教育を前提とした定期的な勉強会を同窓会と教員と共同で取り組んでいきたい。 | |
| 5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか | 社会人の転職率が年々増加しており、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備は重要なことと考える。 | 大学・短大時代の既修得単位の認定及び専門実践教育訓練給付金制度の利用等により、社会人入学者が年々増加している。更に、社会人のニーズに対応できるよう検討している。 | 専門実践教育訓練給付金制度については、今年度再指定申請を行い、再指定された。 | 専門実践教育訓練給付金リーフレット |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|----------------------------------|
| <p>卒業生への支援体制については、同窓会総会の開催を通して卒業生相互の交流や情報交換の場として行っている。</p> <p>また、卒業生に対し年に5回の卒後教育を実施している。</p> <p>専門実践教育訓練給付金制度の利用等により、社会人入学者が年々増加している。</p> | 卒業生への連絡手段としては、オフィシャルLINEを使用している。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 6 教育環境

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| <p>施設内容については、国が定める基準を満たし、必要に応じ校舎補修・設備メンテナンス等を行っている。学生生活のための環境作りについてはより充実させていく。また、最新の教育機器の購入や図書の実践に取り組んでいる。</p> <p>地域臨床見学及び臨床見学、臨床評価実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ等で合計22週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら臨床実習を進め、教育効果の確認をしている。</p> | <p>緊急地震速報装置の設置、AEDの設置及び乾パンや水等の非常食の他に、非常用トイレを備蓄して災害発生に備えている。</p> <p>防災担当の教職員を中心に緊急時対応のマニュアル作成した。学生に対し校内の避難経路、地域の避難場所を提示してある。さらに、緊急時対策マニュアルを作成し、教職員、学生の避難訓練を実施した。各自、反省点等を課題として、今後も実施する予定である。</p> |

| | | | |
|---------------|-----------|--------------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|---------------|-----------|--------------|-------|

6-22 施設・設備等

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|--------------------------------|---|---|-----------|
| 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか | 施設・設備・教育用具等については、国が定める基準を遵守する。 | 計画的に施設・設備・教育用具購入費等の予算を確保し、快適な学生生活のための環境作りを行っている。 | 基礎作業学の木工、陶芸、革細工等のアクティビティが、以前に比べ、減少傾向となり、触れる機会も少なくなっている。 | 備品台帳 |
| 中項目総括 | | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） | | |
| 施設・設備・教育用具等については、国が定める基準を満たし、必要に応じ校舎補修・設備メンテナンス等の予算を確保して、快適な学生生活のための環境作りに努めている。 | | 教材である電動ベッド（3 モーター式）を購入。 校舎内全トイレの便座をウォシュレット式に入れ替える。 | | |

最終更新日付

2024年4月1日

記載責任者

金谷 恵美

6-23 学外実習、インターンシップ等

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|---|-------------------------------------|--|-----------|
| 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか | 地域臨床見学及び臨床見学、臨床評価実習、臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱで合計２２週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら進めていくことが重要である。 | 臨床実習として合計２２週間を、関係施設等と連携を取りながら進めている。 | その時点での状況に合わせて混乱なく実施できるよう、数パターンの実習体系を準備する必要がある。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| 地域臨床見学及び臨床見学、臨床評価実習、臨床実習Ⅰ及び臨床実習Ⅱで合計２２週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら臨床実習を進め、教育効果の確認をしている。 | 臨床実習は、コミュニケーション能力及び知識を同時にチェックされる場であり、学生にとってストレスが多い科目となっている。よって、臨床実習指導者との意志の疎通が極めて大切である。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

6-24 防災・安全管理

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------------------|--|--|--|-----------|
| 6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか | 災害発生時における対応や方法は、防火管理者を中心に体制を整備することが重要と考える。 | 防災管理者、防災担当の教職員を中心に、消防署に相談して防災対策の整備を進めている。 | 緊急時対策マニュアル作成をした。 | |
| 6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか | 災害等に備え、防災訓練を実施することが重要と考える。緊急時の学生の動向の把握も必要。 | 学生に対し教室等に避難経路を指示し、防災訓練、避難経路確認及び防災避難誘導訓練を実施した。 教育的観点から授業時間外も学生は校舎を使用できる。 | 全学生対象の防災訓練を実施した。 授業時間外の施設使用の記入用紙を設置、学生の動向を把握できるようにした。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| 学生に対し教室等に避難経路、地域の避難場所を掲示してある。教職員の防災訓練、避難経路確認や防災避難誘導訓練を実施した。 | 緊急地震速報装置の設置、AEDの設置及び乾パンや水等の非常食の他に、非常用トイレを備蓄して、災害発生に備えている。よりきめ細かな緊急時対策マニュアルを作成し、学生、教職員の防災避難誘導訓練を実施し、災害発生時に備えた。 消防署には、実施報告書を提出し、記録書を作成した。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 7 学生の募集と受入れ

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| <p>学生募集活動については、彰栄学園としての長い伝統と実績を基に、専門学校間の確認事項を踏まえ、志望者の立場及び実情を考慮して適正に行うとともに、本校の情報と卒業生等の教育効果をわかりやすく工夫して、各媒体で正確に伝えることで、学生募集と高い就職率に繋がっている。</p> <p>また、各媒体からの反応は、年度毎にデータを集積及び比較して活用している。</p> <p>入学選考及び学納金については、学則及び学生募集要項で手続方法等を規定し、教員会で教職員間の意思統一を図って対応している。</p> <p>また、</p> <p>選考情報等は継続的に記録し、経営判断及び学生募集に活用するとともに、卒業生の情報提供等の協力を受け、即戦力となる人材養成を図っている。</p> | <p>専門学校では、学納金が学校運営の基本となるため、確実な納入手段を図っているが、学生の実情を考慮した対応を行う。</p> <p>また、学生の定員割れの現象もみられる為、指定校推薦の対象校を増加した。</p> <p>専門実践教育訓練給付金についても再指定を受ける事となり、入学生の2/3が社会人という状況となる。</p> <p>社会人と現役生をバランス良く確保し安定的な経営環境作りを目指す事が肝要である。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------------------|--|--|--|--------------------------|
| 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか | 高等学校等接続する教育機関については、教育活動、就職実績及び支援体制等を的確に情報提供することが重要と考える。 | 高校等には主に代理店主催の高校ガイダンスに加え、高校訪問、イベントの告知など情報提供に努めている。 | 定期的なイベントの開催、学校比較や費用面などの検討の時間がもてるよう日程を工夫した。 | 学校案内 学生募集要項 |
| 7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか | 学校案内、ホームページ及びイベント等を通して、学校の適正な情報及び入学志願者の役に立つ情報を適切に伝えることが重要と考える。 | 学校案内は勿論であるが、インターネット社会に対応するため、ホームページでの適切な情報提供に最大の力を注いでいる。 | 専門実践教育訓練給付金の活用、ホームページを媒体としたSNSの活用の検討が必要。 | 学校案内 学生募集要項 ホームページ |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| 高校等には主に高校ガイダンスを通して、教育活動、就職実績及び支援体制等の情報提供に努めている。学生募集活動については、学校案内は勿論であるが、インターネット社会に対応するため、ホームページでの適切な情報提供に最大の力を注いでいる。 | 教員主導型の学生募集を行い主たる窓口に学内広報委員による広報委員会を月に1回実施状況により修正を加えながら募集をすすめた。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

7-26 入学選考

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|-------------------------------------|---|---|-----------------------------------|--------------|
| 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか | 入学選考基準は、学則及び学生募集要項で定める基本方針に基づき、適正かつ公平に実施する。 | 教員会で個々の具体的選考方法について審議し、入学選考当日にも担当教員が事前に会議を行い、選考基準を確認して試験を実施している。 | 作業療法士としての資質が見られる選考方法を検討する。 | 学則 学生募集要項 |
| 7-26-2 入学試験は社会的状況にあわせ、適切に行われているか。 | AO入試、推薦入試、社会人入試を実施し、推薦入試1回目に指定校推薦入試を実施した。 | 面接を重視しその人物が本校に適しているのか判断している合否判定は入試終了後、入試委員により協議して決定する。 | 各入試に特徴を持たせ、入試の選択をしやすいよう工夫する必要がある。 | 学則 学生募集要項 |
| 7-26-3 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか | 入学選考に関する実績は、教員会で報告し把握する。また、必要に応じて授業改善等に活用することが重要と考える。 | 入学選考に関する実績は、教員会で報告し把握しているが、面接中心のため、授業に活用することは難しくなっている。 | 特になし 授業への活用について検討を進める。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---------------------------------------|
| 入学選考は、適正かつ公平に行うことを重要視し、教職員が意識を共有し連携して実施している。また、毎年情報を記録することで、次年度の入学選考に活用している。入学選考に関する実績は、教員会で報告し全教員で把握している。 | 国家試験対策や中途退学者を減らすためにも、入学生の資質の把握が大事である。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

7-27 学納金

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---------------------------------------|--|--|-----------------------------------|-----------|
| 7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか | 経費内容を確認のうえ、学納金を算定して、学生が充実した学生生活をおくるために、適切な水準とする。 | 経費内容を確認のうえ、学生が充実した学生生活をおくるために、適切な水準にて学納金を算定している。 | 物価上昇に伴い、必要な経費（特に実習費）を検討しなおす必要がある。 | |
| 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか | 文部科学省及び全国専門学校各種学校総連合会からの取り扱いに則り、学則等で定め適正に処理する。 | 学則に規定された手続きにより、適正に処理している。 | 社会的な認識の変化などを的確にとらえ、必要に合わせて変更していく。 | 学生募集要項 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---|
| 経費内容を確認のうえ、学生が充実した学生生活をおくるために、適切な水準にて学納金を算定している。入学辞退者に対しては、学則に規定された手続きにより、適正に処理している。 | 専門学校は、原則として学納金が収入の全てであるため、常に適正な金額を把握する。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 8 財務

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|---|
| <p>財務状況については、本法人が運営する彰栄リハビリテーション専門学校、彰栄保育福祉専門学校及び彰栄幼稚園の3部門を合算した財務資料の評価となる。</p> <p>各専門学校の目的は、少子高齢社会を支える作業療法士、幼稚園教諭、保育士及び介護福祉士の養成であり、それぞれが人材不足と叫ばれ、その確保は国の重点政策でもあることから、社会的注目度が高い分野でもある。</p> <p>幼稚園においても、「子ども子育て支援新制度」が始まり、子育て支援施設として期待されている。</p> <p>このような状況の中でも、少子化や養成校の乱立による学生募集の厳しさ、教職員人件費の高騰及び施設設備更新経費の負担を考えれば、安心することはできない。</p> <p>経年劣化により老朽箇所の改修を行った。教育機器・教材の購入について適宜に行う予定。</p> | <p>私立学校である以上、その教育を支える財政は盤石なことが求められる。本校は127年の歴史を有し、校名も浸透しているが、全体として厳しい学生総数となってきている。このことから、財務において学生に悪い影響を及ぼすことのないよう努める。</p> <p>しかし、学生数の減少は、学園の財務の根幹を揺るがすものであり、今後の将来計画、財務計画等を常に重要課題として捉え、更なる改善の努力が必要と考える。</p> <p>本学園も早急なるセグメント会計を実行し、毎月常務理事会にて「月次報告」が可能な、経理・財務会計体制を整えなければならない。</p> <p>更には、もう少し機械会計を有意義に活用し全教職員に情報公開を行う必要もある。</p> <p>本特記事項は、優先事項とし外部理事も含め早急なる協議を行わなければならない。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

8-28 財務基盤

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|---|---|--|---------------------------------------|
| 8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか | 財務状況は、理事会、評議員会及び理事長以下執行担当者が把握しており、年度毎の財政収支が恒常的にマイナスに終始していることについて認識しており、年度毎の収支改善が重要課題になっている。 | 学生の教育環境向上を維持したうえで、経費削減に努力しなければならない。 | 中長期的計画で、教職員の適正人数及び適正配置を考え、年度毎の収支改善が最優先課題であることを共通認識としている。 | 資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録 |
| 8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか | 財務数値は、理事長に随時報告し、理事会及び評議員会には主に予算及び決算時に報告している。 | 財務数値については、公認会計士の助言を参考にし、監事の了解を得たうえで、理事会で確認している。 | 財務数値報告とともに、諸資料についても充実させたい。 | 資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|---|
| 現在の法人財務基盤は、財務諸表が示すとおり厳しい状況にある。財政健全化を図るため、たとえ、それが中長期にわたるとしても、改善計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。 | 本法人の財務状況については、全体としては極めて厳しい状況にあることを厳しく再認識している。 |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

8-29 予算・収支計画

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--|--|---|---|---|
| 8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか | <p>年度予算については、経理担当者が理事長及び各部門担当者とのヒヤリングを行い慎重に作成している。</p> <p>また、教育環境維持向上のため、施設の危険箇所改修や老朽化した設備の更新は、優先して取組んでいる。</p> | <p>年度予算作成過程において、各部門に必要な予算を申請させるが、理事長、事務局長及び経理担当者で査定会議を行い、常務理事会の議を経て、単複年度の予算を決定している。</p> <p>また、学納金、その他の収入、人件費支出、管理経費支出及びその他の支出等、大項目毎に精査し決算と大きな開きが出ないように心掛けている。</p> | <p>全教職員が、学校運営に資金計画が必要であることを認識し、その結果は予算及び決算書で表されていることを知る必要がある。そのために、法人内にも積極的な情報開示が必要である。</p> <p>教職員は、教育の理想と経費のバランスを考えながら、中長期的な施設設備改修及び教育機器更新の計画をすることを再認識し、これを周知、徹底する必要がある。</p> | <p>資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録</p> |
| 8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか | <p>予算は規程に基づき執行し、理事会、評議員会及び監事に報告し、適正、妥当と評価されている。</p> | <p>予算は、評議委員会等の意見を参酌し、理事会の議を経て決定され、理事長の指示のもと、適正に執行されている。</p> | <p>予算執行について、システム化を更に図る必要がある。</p> | <p>彰栄学園経理規程</p> |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| <p>予算については、手続き上、法人執行部が作成し、会計士及び税理士の助言を仰ぎ、常務理事会の議を経て、理事会で決定し、経理規程に基づき執行されている。</p> | <p>特になし</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

8-30 監査

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--------------------------------------|---|--|--|-----------|
| 8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか | 本法人は、学校教育法に定めるいわゆる一条校であり、会計監査については東京都の指導により適正に行われている。 | 法人財産の現状を各種証憑類に基づき監事が監査し、理事会及び評議員会に報告している。また、会計士による監査も実施したうえで、決算報告書を東京都に提出している。 | 監査体制は適切であり、指摘を受けた事項は、速やかに改善するよう努力している。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 本法人は、学校教育法に定める一条校であり、会計監査については東京都の指導により適切に行われている。また、各責任体制も法により明確にされており、スケジュールについても指導されており妥当なものである。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

8-31 財務情報の公開

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|---------------------------|------------------------------|---------------------------------|------------|
| 8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか | 私立学校法に基づく財務情報については公開している。 | 事業計画及び報告とともに、ホームページにて公開している。 | 特になし よりわかりやすくしていく努力を続けることが必要 | 彰栄学園情報公開規程 |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 私立学校法に基づく財務情報公開は、彰栄学園情報公開規程により整備され、ホームページにて公開している。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 9 法令等の遵守

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--|
| <p>理学療法士及び作業療法士法等の基準を遵守し、学生が卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得する体制を整えている。</p> <p>また、学園の運営に当たっては、教育基本法、学校基本法及び専修学校設置基準を基本として適正な運営を行い、所轄官公庁への申請、報告及び届出を適切に行っている。</p> <p>法令遵守及び個人情報の保護等に関する意義及び重要性については、教職員には年度初めに全教職員が参加する意見交換会で啓蒙活動を行なっている。</p> <p>なお、本校の自己点検は6年前から実施して、結果を冊子にして教職員に配布している。さらにホームページ公開にて閲覧が可能となっている。</p> | <p>理学療法士及び作業療法士法施行令に基づく業務報告を、毎年東京都に提出している。</p> <p>6年前より、自己点検及び自己評価を行っており、更なる内容の充実を図っていく。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--|---|---|----------------------|-----------|
| 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか | 学校教育に関わる各種の法令、設置基準、作業療法士指定に関わる法令及び指定規則等を遵守し、適正な学校運営を徹底する。 | 関係する法令等が多岐に及ぶため、対応が間に合わないことがないように随時体制を整え対応している。 | 今後も厳しくチェックしていく必要がある。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 学校教育に関わる各種の法令及び基準が多岐に及ぶため、教職員に法令遵守を徹底し、常に適正な運営を図るよう努力する。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

9-33 個人情報保護

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|------------------------------------|---|---|--|-----------|
| 9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか | 学園全体の取り組みとして、個人情報の重要性を十分に認識して、関係する法律の適正な取り扱いに努める。 | 学生の個人情報等は、保管する場所を限定して、持ち出し等を制限している。 決められたパソコン以外では、持ち出し禁止等の組織的な管理をしている。 | 個人情報保護に関する学園全体の方針等を、実情に応じて柔軟に対応することが課題である。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 学園全体で、個人情報の重要性を理解して法令等の遵守に努めているが、個人情報に関わる環境の変化に柔軟に対応することが課題である。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

9-34 学校評価

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|----------------------------------|---|--|---|---------------|
| 9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか | 自己評価の実施体制を整備し評価を行い、問題点の改善に努める。 | 自己点検及び自己評価報告書の作成及び公開、資格取得に係わる法令で指定されている自己点検を実施し、課題の改善に努めている。 | 年3回学校関係者評価委員会を開催し、さらに学園として組織的及び継続的に課題の改善が図れる体制を整える。 | 自己点検及び自己評価報告書 |
| 9-34-2 自己評価結果を公表しているか | 自己点検及び自己評価の結果を報告書にまとめ、冊子及びホームページ等の媒体で、公開する。 | 自己点検及び自己評価の報告は、冊子及びホームページで公開している。 | よりオープンにしていく必要がある。 | 自己点検及び自己評価報告書 |
| 9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか | 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行う。 | 学校関係者評価が実施できる体制を整備し評価を行った。そのうえで、課題の改善に努めている。 | より実践的な情報を収集できるような体制の整備が必要である。 | |
| 9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか | 学校関係者評価委員会の結果の公開を行う。 | 学校関係者評価委員会の結果の公開をホームページで行った。 | よりオープンにしていく必要がある。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 自己点検及び自己評価を実施し、現在結果をホームページで公開している。また、学校関係者評価が実施できる体制を整え、評価を行いホームページで公開している。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

9-35 教育情報の公開

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--------------------------------|---|--|------------------------|----------------|
| 9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか | 学校の概要及び教育内容だけでなく、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行うことが、重要であると考え | 学校の概要及び教育内容については、学校案内及びホームページで公開している。行政の指導の下、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行う。 | 分かりやすい公開の仕方については検討が必要。 | 学校案内 ホームページ |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--------------------|
| 学校の概要及び教育内容については、学校案内及びホームページで公開している。今後は、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行う。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

基準 10 社会貢献・地域貢献

| 大項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|--|--|
| <p>開設当初から、地域の中で関連施設と連携・育成していく学校にしたいと目標を立て、活動してきた。</p> <p>ボランティア活動も担当教員を中心に、年間を通して受け付け、学生に積極的に呼びかけ、継続している。</p> <p>地元の医療施設や区の健康増進事業への協力要請があり、教員が自分の学びに加えて地域貢献している。</p> | <p>地元の障害者施設や高齢者デイサービス、放課後等デイサービスなどと連携し、授業内実習、ボランティア活動に取り組んでいる。</p> <p>認知症支援推進事業の「認知症とともに暮らせる社会に向けて」に参加している。</p> <p>区のフレイル予防事業に参加した。</p> <p>小学校の障害教育との連携を図った。</p> |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

10-36 社会貢献・地域貢献

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|--------------------------------------|---|--|---|-----------|
| 10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 関連団体からの要請があれば、学校施設を開放したり、活動に参加したり、つながりを大切にしている。 | 関連団体の要請で研修会の会場に学校施設を提供し、学生の学びの場にもなっている。 教員の研修が社会貢献につながるよう努めている。 | まだ研修体制整備はスタートしたばかりなので、計画的に日常業務にプラスして、教員が輪番制で、社会貢献できるよう整備していく。 | |
| 10-36-2 国際交流に取り組んでいるか | 資格の取得要件及び就職先の受入環境を考慮すると、現時点ではいずれの外国との協力も難しい。 | 授業の中で国際交流について紹介している。 7月にタイからの来訪があった。 | 教育及び医療に関わる状況について、まず教員が積極的に学び、整備していく。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 学校の教育資源を活用した社会貢献及び地域貢献については、さらに計画的に取り組んでいきたい。国際交流についても難しい状況であるが、教育及び医療に関わる状況に応じて、対応を検討する。 | 特になし |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|

10-37 ボランティア活動

| 小項目 | ア 考え方・方針・目標 | イ 現状・具体的な取組等 | ウ 課題と解決方向 | エ イの参照資料等 |
|---|---|---|-----------------------|-----------|
| 10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか | 学生の自主的な活動として、生きた学びとなるボランティア活動を積極的にサポートしていく。 | 3年間の密なカリキュラムもあり時間が取れないのが現状。学生にアナウンスする事しかできない状況。 | ボランティア活動をする体制をサポートする。 | |

| 中項目総括 | 特記事項（特徴・特色・特殊な事情等） |
|---|--------------------|
| 当事者の生活を考える学生を育てるためにも、地域のボランティア活動は重要な社会体験の場として、今後も積極的に取り組んでいく。 | |

| | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 最終更新日付 | 2024年4月1日 | 記載責任者 | 金谷 恵美 |
|--------|-----------|-------|-------|